※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	ものづくり応用	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	自主制作教材						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇切削加工技術の習得、溶接技術の習得
…段付軸を旋盤で削り作成、アーク溶接で鋼板・パイプの溶接をおこないリヤカー等を製作

２　学習の到達目標

工業の各分野に関する技術を実際の作業に即した実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりにおける発展的な知識・技能を身に付けさせることを目標とする。その中で、課題を見いだし、自らが学ぶ態度、主体的に取り組む態度を養い、適切に判断する力をはぐくむ。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・切削加工や溶接の基本的な技術を理解し、技能を習得する。	・切削加工や溶接の実習を行っていく中で、課題を見いだし、解決する力を養う。	・基本的な工業に関する技能の向上を目指し、自らが学ぶ態度、主体的に取り組む態度を身につけようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
10月	製作図と作業工程	・図面の理解、作業工程の理解 ・帯ノコ盤を使って材料を切断	a:製作図を理解し、作業に入ることのできる必要な知識を養う。 b:図面の見方を考え、正確に判断し、表現することができる。 c: 製作図と作業工程について関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート
11月	旋盤加工	・外周切削で段付加工	a:旋盤において必要な知識を養い、基本的な技能を身に付ける。 b:旋盤を用いて、加工量や、仕上がり寸法を考え、正確に判断できる。 c: 切削機械の旋盤に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート
12月	旋盤加工	・溝加工、面取り	a:旋盤において必要な知識を養い、基本的な技能を身に付ける。 b:旋盤を用いて、加工量や、仕上がり寸法を考え、正確に判断できる。 c: 切削機械の旋盤に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート
1月	溶接作業	・アーク溶接の基本作業	a:ストレート・ウィービングビートの方法を知り、技能を高める。 b:理想的なビートをするには、どのようにすればよいか考え、表現する。 c:アーク溶接に関心を持ち、考察しようとする。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート
2月	応用実習	・部品準備、組立作業	a:これまで学んだ技能を活かして、アーク溶接に必要な知識・技能を身に付けることができる。 b:アーク溶接の応用実習について、自らの考えを表現し、正しく判断することができる。 c:アーク溶接に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度